

令和2年度 一般会計予算

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

提出課

福祉課

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位:千円)

事業名		温水プール利用促進健康づくり事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,175	2,041				2,041
【事業概要及び必要性又は目的】 施設の利用促進と自発的・積極的な体力づくり及び健康の改善・保持・増進を図るため、町民を対象に温水プールの利用券を発行し、利用料を助成する。					
【事業の内容】 <対象者等>					
		対象者	利用券交付枚数	助成額	
		個人利用者	1か月あたり4枚	利用券1枚につき 320円（未就学児 (3歳未満を除く) 220円)	
		グループ利用者（2人以上のグループ）	1か月あたり4枚（利用券を全て使用した場合、追加交付）		
		モニター利用者（体重、体脂肪率、血圧を記録）	1か月あたり8枚		
<申請窓口> 伯耆町役場 福祉課 （電話68-5534）					

事業名		生活困窮者自立支援事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
6,850	7,316	5,454			1,862
【事業概要及び必要性又は目的】 生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給等を行う。					
【事業の内容】 <事業内容>					
		自立相談支援事業	生活困窮者に対する相談窓口を設置し、主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の3職種を配置する。相談窓口では、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等を実施する。		
		住居確保給付金	離職を理由に住居を失う恐れがある者に有期で家賃等を支給する。		
<実施体制> 伯耆町社会福祉協議会に相談窓口を設置し、自立相談支援事業及び住居確保給付金の申請受付を行う。相談者の相談内容から必要な支援を検討し、必要に応じて役場、関係機関等と連携して当該相談者の支援を行う。					
<相談窓口> 伯耆町社会福祉協議会 （電話68-4635）					

令和2年度 一般会計予算

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

提出課

福祉課

(目)

4. 老人福祉費

(単位：千円)

事業名		敬老会助成事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,214	5,243				5,243
【事業概要及び必要性又は目的】 各自治会で実施される敬老行事の充実を図るため、補助金を交付する。					
【事業の内容】 <補助対象者> 令和2年8月1日現在で満77歳以上の方で、自治会加入者 <補助対象事業>					
		事業種別	事業内容	対象経費	補助金額
		敬老会開催事業	各地区公民館等で敬老会を開催する事業	会場借り上げ料、食糧費、アトラクション等に要する経費、記念品代	1人あたり 3,500円
		記念品配布事業	敬老会該当者に対して記念品の配布のみを行う事業	記念品代	1人あたり 2,000円
<申請窓口> 伯耆町役場 福祉課 (電話68-5534)					

事業名		敬老の日贈り物			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
343	300				300
【事業概要及び必要性又は目的】 長寿を祝い、記念年齢の方及び最高齢の方にお祝いの品を贈呈する。					
【事業の内容】 <対象年齢> 90歳、100歳、105歳、町内最高齢者 <記念品> カタログギフト等					

事業名		老人クラブ事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,534	3,534	2,354			1,180
【事業概要及び必要性又は目的】 高齢者のいきがいと健康づくりのための社会参加を通じて、生活を豊かにすることにも、明るい長寿社会づくりに資するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブへ運営費を助成する。					
【事業の内容】 ○単位老人クラブ補助金					
		事業区分	事業・活動内容		補助上限額
		一般活動分	奉仕活動・教養事業活動・スポーツ活動		46,000円
		特別事業分	世代間交流・ふれあいサロン・清掃奉仕		25,000円
<申請窓口> 伯耆町役場 福祉課 (電話68-5534) ※単位老人クラブのとりまとめは、老人クラブ連合会事務局(伯耆町社会福祉協議会)					